



会社名 J.フロント リテイリング株式会社  
 コード番号 3086  
 代表者名 代表取締役社長 山本 良一  
 お問合せ先 経営戦略統括部  
 グループ広報・IR担当  
 TEL 03-6895-0178

**2014年5月度 J.フロント リテイリング 連結営業報告**

1. セグメント別売上高（対前年増減率：％）

	5月度	3～5月度累計
百貨店事業	▲ 10.7 ( ▲7.7 )	2.0 ( 5.0 )
パルコ事業	2.5	3.7
卸売事業	▲ 5.7	▲ 1.4
クレジット事業	12.7	21.7
その他事業	▲ 18.0	13.0
連結合計	▲ 7.1	3.6

(注)百貨店事業合計の( )内は、松坂屋銀座店(銀座再開発・建替えのため2013年6月30日一旦営業終了)を除く既存店ベース。

2. 売上高概況

1) 百貨店事業

- ・5月度の百貨店事業の売上高は、東京店が前年実績を上回ったほか、そのほかの基幹店でもマイナス幅が1桁に縮小するなど着実な回復傾向が見られ、大丸松坂屋百貨店合計では対前年▲7.8%減、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同▲7.7%減となった。商品別では、食料品が対前年プラスとなったほか、4月度対前年3割減であったラグジュアリーブランドが1桁減、同2桁減であった衣料品が1桁減に縮小するなど、各商品分野で売上は回復しつつある。

2) パルコ事業

- ・衣料品では、苦戦が続いていたヤングカジュアルを含め夏物衣料が活発に動いたほか、身回品ではバッグが好調を持続し牽引したことなどから、全体では消費増税前の駆け込み消費の反動減から着実に回復し、パルコ事業は対前年2.5%増となった。

3) その他

- ・卸売事業の大丸興業は、化学品や金属・自動車などが売上を伸ばしたものの、ホームセンター向け商材などが苦戦し、対前年▲5.7%減となった。
- ・クレジット事業のJFRカードは、大丸松坂屋百貨店のお得意様ゴールドカードのクレジット化による手数料収入の増加などが寄与し、対前年12.7%増となった。
- ・その他事業は、J.フロント建装の前年大型改装工事売上計上の反動減の影響などにより、対前年マイナスとなった。

お問合せ先	J.フロント リテイリング株式会社	グループ広報・IR担当
	TEL	03-6895-0178
	FAX	03-6674-7565

## 2014年5月度 百貨店事業 営業報告

### 1. 売上高および入店客数（対前年増減率：％）

	5月度		3～5月度累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	▲6.4	▲3.0	6.4	▲1.6
大丸 梅田店	▲3.7	▲0.9	2.5	▲1.5
大丸 東京店	2.4	0.7	8.5	0.1
大丸 浦和パルコ店	▲5.9	▲1.0	▲3.2	▲0.8
大丸 京都店	▲6.8	▲1.7	6.1	▲0.8
大丸 山科店	▲7.7	▲6.1	▲3.4	▲5.2
大丸 神戸店	▲3.8	1.3	8.8	▲1.1
大丸 須磨店	▲3.8	▲0.7	▲2.6	▲1.7
大丸 芦屋店	▲7.9	0.2	▲2.0	0.1
大丸 札幌店	▲3.7	▲7.1	2.9	▲5.3
松坂屋 名古屋店	▲18.1	▲3.7	7.3	▲4.1
松坂屋 上野店	▲13.8	▲13.5	▲2.0	▲4.0
松坂屋 静岡店	▲10.4	6.5	8.1	8.0
松坂屋 高槻店	▲3.4	▲1.1	1.3	▲0.8
松坂屋 豊田店	▲5.4	4.4	0.1	2.6
<b>大丸松坂屋百貨店合計</b>	<b>▲7.8</b>	<b>▲2.0</b>	<b>5.3</b>	<b>▲1.6</b>
博多大丸	▲7.9	▲2.7	4.7	▲1.3
下関大丸	▲2.9	3.2	0.1	7.8
高知大丸	▲7.4	▲2.1	▲1.8	▲2.6
<b>百貨店事業合計</b>	<b>▲7.7</b>	<b>▲2.0</b>	<b>5.0</b>	<b>▲1.3</b>

(注)合計は、松坂屋銀座店(銀座再開発・建替えのため2013年6月30日一旦営業終了)を除く既存店ベース。

前年に松坂屋銀座店を含めた5月度売上高の対前年増減率は、大丸松坂屋百貨店合計 対前年▲11.2%減、百貨店事業合計 同▲10.7%減。

前年に松坂屋銀座店を含めた3～5月度累計売上高の対前年増減率は、大丸松坂屋百貨店合計 対前年1.9%増、百貨店事業合計 同2.0%増。

### 2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高（対前年増減率：％）

	5月度	3～5月度累計
紳士服・洋品	▲3.6	1.8
婦人服・洋品	▲4.5	5.9
子供服・洋品	▲0.4	3.5
その他の衣料品	▲20.6	10.3
衣料品計	▲4.8	5.2
身回品	▲2.7	4.8
化粧品	▲6.2	14.9
美術・宝飾・貴金属	▲49.1	9.2
その他雑貨	4.5	10.9
雑貨計	▲31.9	11.6
家具	▲10.2	31.6
家電	▲27.7	▲4.8
その他の家庭用品	▲4.4	6.9
家庭用品計	▲6.9	11.8
生鮮	▲3.6	▲2.0
菓子	3.4	2.8
惣菜	7.9	3.7
その他食料品	▲5.8	5.3
食料品計	1.6	2.6
食堂・喫茶	▲7.2	▲5.4
サービス	▲0.1	▲3.2
その他	▲5.8	2.0
合計	▲7.8	5.3

(注)松坂屋銀座店(銀座再開発・建替えのため2013年6月30日一旦営業終了)を除く既存店ベース。

### 3. 売上高概況

好調な菓子、惣菜や、物産催事効果により食品がプラスに転じたほか、紳士服ではヤング・ヤングアダルト向け衣料がプラスとなったことに加え、ラグジュアリーブランドを含む婦人服などの衣料品やアクセサリなどの身回品のほか、化粧品など雑貨の一部でも減少率が1桁に縮小するなど、多くの商品分野で売上の着実な回復傾向が見られた。なお3～5月度累計の商品別売上高増減率は、ほとんどの部門でプラスとなった。